

(法第 10 条第 1 項第 7 号)

## 年度事業計画書

法人成立の日 から 令和 8 年 3 月 3 1 日

特定非営利活動法人 余生あんしんサポート

### 1 事業実施の方針

本年度は、終活に関する葬儀、遺品整理、お骨の預け先、不動産、相続等の相談会の実施を中心に事業展開するとともに、行政とも連携をとり、困っている方の支援を実施活動して行く。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日及び時間	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算(千円)
第5条 (1)高齢者等の葬儀、相続関連事項等、終活問題に関する情報提供及び相談事業	高齢者等に無料相談会を開催する	随時	鹿児島県	延べ 12人	地域住民	110
(2)死後の諸手続き及び葬送支援事業	通夜、葬儀、拾骨等の支援	随時	鹿児島県	延べ 12人	地域住民	300
(3)ご遺骨の納骨及び一時預かりを行える場所の情報提供及び助言・援助に関する事業	納骨方法、場所等個別に合った適切な助言、支援	随時	鹿児島県	延べ 12人	地域住民	20
(4)墓じまい・改葬相談における助言・援助に関する事業	墓じまい、改葬、再火葬手続きの支援、助言	随時	鹿児島県	延べ 12人	墓じまい、改葬を検討している地域住民	10
(5)墓地の管理事業	納骨場所の清掃、支援	随時	鹿児島県	延べ 12人	納骨堂に骨を預けている方	40
(6)遺品整理、遺言執行に関する事業	遺品整理、住宅内外の動産整理、処分	随時	鹿児島県	延べ 6人		100
(7)その他この法人の目的を達成するため必要な事業	不動産整理等助言、支援	随時	鹿児島県	延べ 2人		10

(2) その他の事業

事業名	事業内容等	支出見込み額(千円)
物品販売事業	フリーマーケット	3

【作成上の留意点】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書をそれぞれ作成すること。
- 3 特定非営利活動に係る事業とその他の事業を明確に区分して記載すること。
- 4 事業実施の方針については、当該年度の事業計画実施の重点目標、その取り組み方などを記載すること。
- 5 定款に定める事業ごとに、事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数、受益対象者の範囲及び予定人数並びに支出見込額などがわかるように作成すること。
- 6 事業名は、定款第5条に記載された事業名で統一すること。
- 7 事業内容は、活動の具体的な内容がわかるよう詳しく記載すること。
- 8 実施予定日は、設立初年度については法人設立（予定）日以降について記載すること。
- 9 受益対象者の範囲及び予定人数は、「受益対象者」と「予定人数」のどちらも記載すること。
- 10 事業別に、事業費の予算の合計額と活動予算書の事業費の計とを一致させること。
- 11 定款でその他の事業を規定しているが当該年度に事業を実施しない場合は「・その他の事業 今年度は実施せず」などと記載すること。